

4月からの市民活動支援センター

変更点と従来通りの点をまとめました。

いずれのプランも、利用者のみなさんとのコミュニケーションが不可欠。市民活動のネットワークの軽さを活かして、より充実した支援センターをいっしょにつくりましょう。

1) レイアウト

予約しなくても使用でき、ふらっと寄れる「**交流スペース**」を**広げました**（よりよい配置を求めて4月1日と5月5日、すでに2回変更）。ここをベースとして、支援センターの小さなイベント（自主事業）を多くし、若者や夜間の利用を増やします。

2) 利用者の意見交換・交流

これまでの「運営委員会」に代わり、登録団体の方なら**誰でも参加できる利用者懇談会（仮称「ユーザーミーティング」）**を年に4回ほど開きます。

幅広く意見をきくため、平日昼と週末に分けての開催。この集まりはひとつの「交流会」であり、あるテーマを設けてこれまで行われてきた「センター交流会」にも発展させます。

ユーザーミーティング第1回は6月下旬開催予定。掲示、ホームページでお知らせします。

3) 自主事業

恒例の登録団体と共催の講習会などは継続（決定企画は同封「つなぐ」）。ほか、センター独自企画や登録団体協力で行うものなど**小さなイベントを増やします**。

第一弾は最年少スタッフ長谷川くんがインタビュワーを務める5月26日（金）の「ガヤガヤくまが夜」（情報は「つなぐ」）。

4) ギャラリー展・足跡展

公開方法を見直して継続。従来のよさを残しつつ、市民活動の展示の「新たなかたち」を築いていきたいと思っています。くわしくは2)の「ユーザーミーティング」で話し合いましょう。5)の物販展開も考えています。

5) 「ショップ曙町」（仮称）オープン

市民活動推進課の「ニャオざねグッズ」のほか、登録団体が売上を活動費に充てるもの、印刷用紙など活動に必要なものの**物販をはじめます**。くわしくはご相談ください。

6) NPO開設、会計、運営、補助金など市民活動相談

従来の北部地域振興センター、いきいき埼玉からの出張相談に加え、ホームページ作成などIT、会計など**得意分野を持つスタッフが対応**します。気軽にご相談ください。

7) インターネット配信

支援センターのホームページ、Facebookページを公開しました。登録団体の活動やイベント紹介、支援センター予約状況公開（準備中）など便利な情報が満載。使い方がわからない方は支援センターにお越しください。スタッフがサポートします。

今後もLINEなどほかのツールを使って、より効果的な発信事業を行います。